

審査委員
特別賞

山口県

土居 郁夫

土居建築工房

【作品名】
フラミンゴハウス



設計	土居建築工房
施工	季美の住まい株式会社
竣工日	2018年7月27日

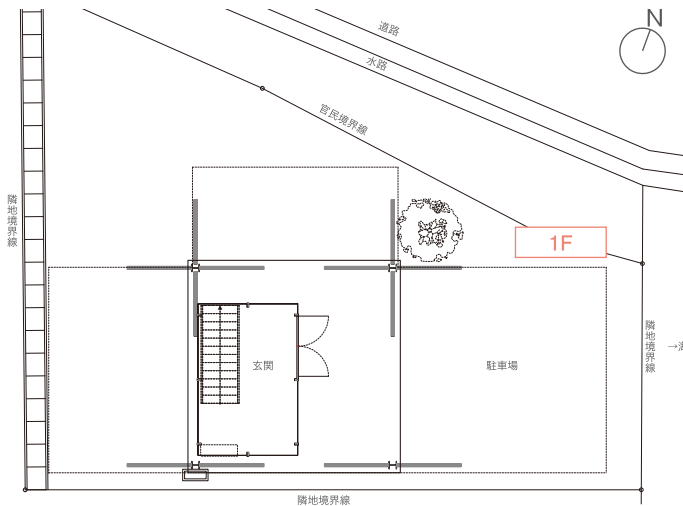
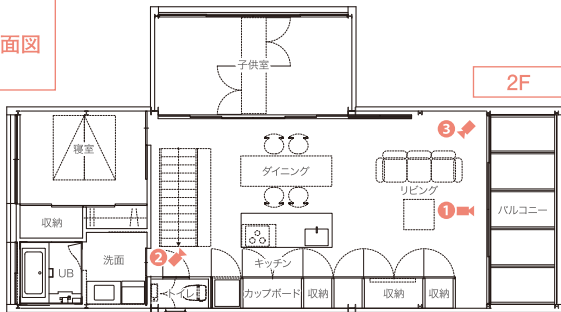
◎建物概要

建設地	山口県岩国市	延床面積	133.56㎡
敷地面積	155.14㎡	構造・規模	鉄骨造

◎設備面の特記

厨房機器	IHクッキングヒーター
給湯機器	エコキュート
冷暖房機器	エアコン

平面図



①2階リビングから、海の風景の隙間を切り取る。
②2方向開かれたLDK+子ども室は、6枚の引込み戸で仕切ることができる。



③「インテリアはできるだけ物が見えないようにしたい」との要望に対し、冷蔵庫、家電機器、エアコン等は建具によって隠れるようにした。

設計コンセプト

「海の風景の隙間」を切り取り、海を望める土地を長年探していた施主からこの地での建築を相談された。海より1区画入った土地であったが、前が道路であるため2階から海が望める建物を提案し、建築が進んでいった。海の風景は時刻とともに変化して、ずっと眺めていても飽きない。空港へ離着陸する飛行機、海を往来する船、天気によって変わる景色。海を望むベランダは休日の朝にはカフェテラスとして、昼には施主の要望であったバーベキューができる。「海を望む家」の要望に対しては、2階の海に近い場所を

リビングにすることを前提に計画を考えた。その解答として、2階のワンフロアに必要な部屋すべてを配置。1階は駐車2台分のスペースで敷地の間口が狭いこと、西面は積ブロック擁壁で高さ2.7m、その上にのり面が2.7mほどの高さがあり、崖崩れの対応策として柱のない突き出したピロティ方式の構造を考えた。1階はエントランスホールの部屋のみとし、ガラス張りとした。2階はバランスを考慮した3方突き出た建築で、宙に浮いたイメージ「フラミンゴハウス」の建築になった。2階のT型の間取りの間口先は海と道路側に向かい、

2方向の間口を1室として解放とするために将来的に子ども室は6枚の引込み戸で仕切れるようにした。外観は1階にH鋼の柱と、鉄パイプ直径101.6mmの筋違いの鋼材(シルバー)で固めたピロティ、2階はガルバリウム鋼板(シルバー)とシムパクトのあるメカニカルなイメージを表現した。

審査委員講評

宙に浮いた大胆な構成の住まい。敷地条件に対応してつくられており、プライバシーを気にすることなく景色の中に浮遊感をもち、オープンでのびのびとした生活が送れそうです。